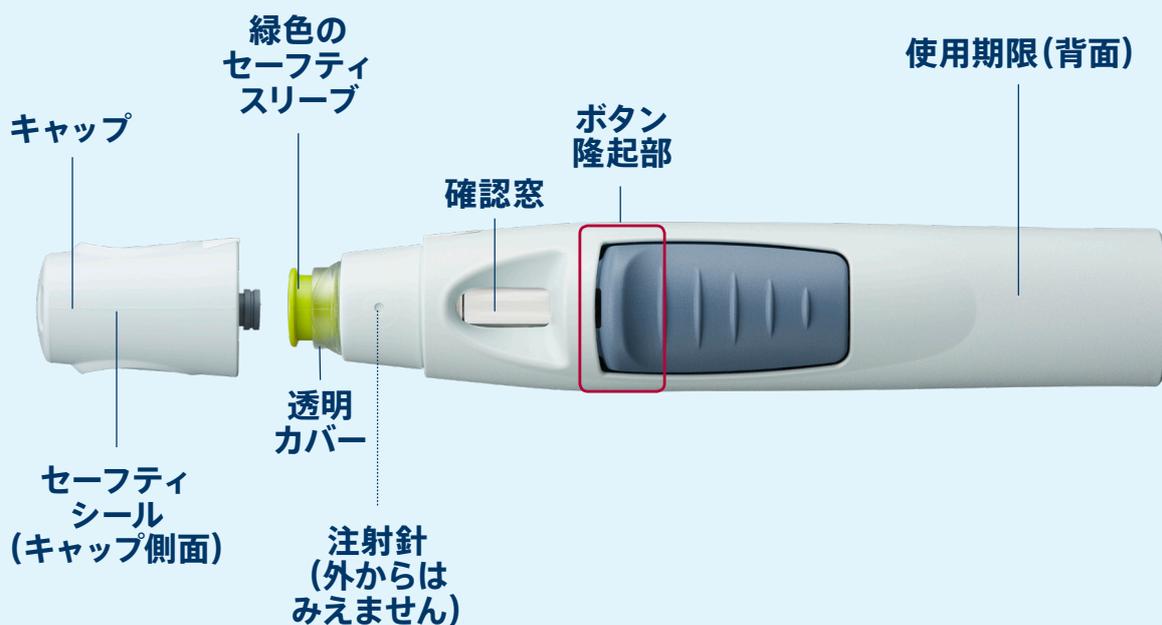


医療関係者
向け

シンポニー[®]皮下注50mg オートインジェクターの投与方法

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

各部名称



注意点

シンポニー[®]皮下注50mgオートインジェクターを使用される際は、毎回封入されている取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書には、最新の情報が記載されています。

保管方法

オートインジェクターは、使用するまで冷蔵庫(2~8℃)で保管してください。
オートインジェクターは絶対に振らないでください。
オートインジェクターを冷凍しないでください。

ステップ1

注射の準備をする

1

オートインジェクターを取り出します

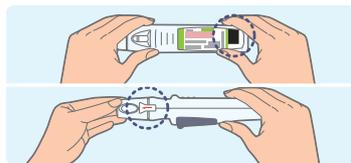
- ・冷蔵庫から取り出したあと、ケースを開封してオートインジェクターを取り出します。
- ・確実に適切な状態で注射を行うために、オートインジェクターを少なくとも30分室温に置いてください。
- ・上記以外の方法(器具等)で温めないでください。
- ・この時点では、キャップは外さないでください。



2

オートインジェクターを確認します

- ・オートインジェクターの背面に記載されている使用期限を確認してください。
- ・使用期限が切れている場合は、オートインジェクターを使用しないでください。
- ・キャップに貼付されているセーフティシールが破れていないかを確認してください。
- ・シールが破れている場合は使用しないでください。



3

薬液の状態を確認します

- ・冷蔵庫から取り出して30分程経過したら、確認窓から薬液の状態を確認します。
- ・薬液は無色もしくは淡黄色で、白色または透明の微粒子を含む場合があります。
- ・気泡が認められることがありますが、正常な状態です。
- ・薬液が濁っていたり、変色していたり、異物がある場合には注射しないでください。



4

注射部位を選びます

- ・以下のいずれかの部位から注射部位を選びます:



へその周囲5センチの範囲は避けてください

皮下脂肪が少ない(痩せた)患者では避けてください

腕(上腕部)には注射しないでください

【注意】

- ・皮下脂肪の薄い部分は避け、皮下に注射が可能となる部位を選んでください。
- ・皮下脂肪が少ない(痩せた)患者の場合は、腹部へ注射してください。
- ・注射部位に強く押し当てすぎないでください。
- ・同一箇所へ繰り返し注射することは避けてください。
- ・押して痛みを感じる部位、あざ、発赤のある部位や、硬い、厚い部位、またはうろこ状になった皮膚には注射しないでください。
- ・傷跡または皮膚線条(肉割れ)がある部位には注射しないでください。

注射部位に関する注意

- ① 注射する部位は、腹部または大腿部を選んでください。なお、特に痩せた患者の場合には、腹部に注射してください。皮下脂肪が少ない部位や皮膚の薄い部位には注射しないでください。

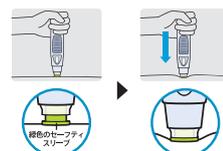
特に痩せた患者の場合の
投与に適した部位



- ② オートインジェクターを注射部位に当てる際には、強く押し当てすぎることがないようにご注意ください。
緑色のセーフティスリーブが透明カバー内に押しこまれたことが確認できる程度の強さで、皮膚に密着させてください。

オートインジェクターを 注射部位に 押し当てる方法

オートインジェクターを
皮膚に押し当てると、
緑色のセーフティスリーブが
透明カバー内に押しこまれます



5

注射部位を消毒します

- ・注射の前に医療用手袋を使用するか、石鹸と流水でよく手を洗ってください。
- ・注射部位をアルコール消毒綿で拭き、乾燥するまで待ちます。
- ・消毒したあとは、注射部位に触れたり、風をあてたり、息を吹きかけたりしないでください。



ステップ3

注射後

使用済みのオートインジェクターを廃棄します

使用済みのオートインジェクターは、取り扱いには十分に注意し、医療廃棄物容器に入れて廃棄してください。

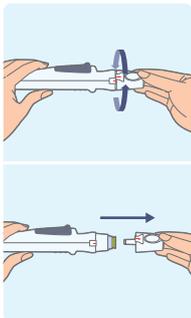
ステップ2

オートインジェクターを使用して注射を行う

- ・皮下脂肪の薄い部分は避け、皮下に注射が可能となる腹部または大腿部を選んでください。
- ・皮下脂肪が少ない(痩せた)患者の場合は、腹部へ注射してください。

1 キャップを外します

- ・キャップをひねってセーフティシールを破り、まっすぐにキャップを外します。取り外したキャップはすぐに捨ててください。
- ・注射直前までキャップを外さないようにしてください。
- ・薬液のしずくがみられることがありますが無問題はありません。
- ・針が破損する恐れがありますので、キャップは付け直さないでください。キャップを外したあとにオートインジェクターを落とした場合は、使用しないでください。



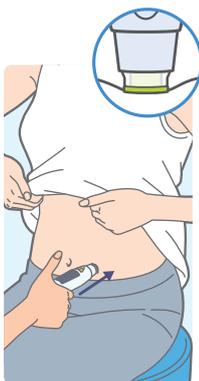
2 注射位置を決めます

- ・オートインジェクターを手に持ち、図のように皮膚に対して垂直に当てます。
- ・緑色のセーフティスリーブが皮膚にぴったり付いていること、注射部位ができるだけ平らな状態であることを確認してください。
- ・注射位置を決めている間は、ボタンに触れたり押ししたりしないでください。



3 皮膚に押し当てます

- ・オートインジェクターを皮膚に押し当てると、緑色のセーフティスリーブが透明カバー内にスライドします。
 - ・皮膚にオートインジェクターを押し当てている間は、ボタンに触れたり押ししたりしないでください。
- ⚠【注意】
緑色のセーフティスリーブは、薬液が誤って注射されることを防ぐためのものです。オートインジェクターが皮膚に押し当てられ、緑色のセーフティスリーブが透明カバー内にスライドするまでは、注射を開始するボタンを押すことができません。注射部位に強く押し当てすぎないでください。緑色のセーフティスリーブが透明カバー内に収まる程度に押し当ててください。



4 ボタンを押して待ちます

- ・オートインジェクターを皮膚に押し当てたままにします。ボタンの隆起部を押すと、注射が開始されます。
- ・ボタンを押すと、1回目のカチッという音が鳴り、薬液の注入が始まります。このとき、チクッとする感覚があるかもしれません。
- ・注射の終了を知らせる2回目のカチッという音が鳴るまでお待ちください。
- ・ボタンは、押し続ける必要はありません。



5 2回目のカチッという音が鳴ります

- ・2回目のカチッという音が鳴るまで、オートインジェクターを皮膚に押し当てたままにします(3~15秒)。
- ・2回目のカチッという音が鳴ったら注射は終了です。
- ・オートインジェクターを皮膚から離してください。
- ・カチッという音が聞き取れない場合は、ボタンを押してから15秒数えたあとにオートインジェクターを皮膚から離してください。
- ・投与後に薬液のしずくがみられることがありますが問題はありません。



6 確認窓をチェックします

- ・オートインジェクターを皮膚から離れたら、確認窓にある黄色の表示でオートインジェクターがきちんと作動したことを確認します。正常に注射が終了した場合は、黄色の表示が確認窓のおよそ半分の位置に表示されます。
- ・黄色の表示が揺れたり、確認窓に少ししか黄色の表示が見えない、または確認窓のほとんどに黄色の表示が見える場合も、正常に注射は終了しています。
- ・黄色の表示がみえない場合は、シンボニー® サポートセンター(0120-362-372)に電話してください。



注射部位を確認します

注射部位に少量の出血または薬液がみられる場合は、出血が止まるまでアルコール消毒綿、綿球またはガーゼパッドで皮膚を押さえてください。注射した部位をこすったりもんだりしないでください。必要に応じて、注射部位に絆創膏を貼付してください。

ご不明な点は、下記お問い合わせ先にご相談ください。

ヤンセンファーマ株式会社
メディカルインフォメーションセンター

0120-183-275

9:00~17:00(土・日・祝日および会社休日を除く)

田辺三菱製薬株式会社
くすり相談センター

0120-753-280

9:00~17:30(土・日・祝日・会社休日を除く)



ヤンセンファーマ株式会社



田辺三菱製薬

2023年9月作成

(JPKK)
SMP-0270
SMP.Le148.3

(MTPC)
SMP-415D-
(審)23IX138